



第1回評議員会報告

5月17日（金）県教職員互助組合会館にて今年度第1回目の評議員会が開催されました。

協議では、まず昨年度の決算報告と今年度の予算についての提案が行われました。

今年度の予算編成として、新たに日本教育公務員弘済会からの研究助成金を本会計に繰り入れて、全額を各地区へ均等に配分すること、また支出においてマニュアル編集用にPDFソフトを購入する予定であること、全体的な旅費額が昨年より若干少なく見込まれる等の説明が行われました。今年度の会員一人あたりの会費は昨年より50円少ない1,400円という提案になり、評議員会にて承認されました。

続いて、5年ぶりに県事協事業アンケートを行うことと、県事協CDとホームページに掲載している旅費起点表の更新・整備を行っていくための今後の計画が提案されました。アンケートは、県事協の事業に広く会員の皆さんの声を反映させていくためのとりくみです。起点表整備は、学校統廃合や施設等の新設などで実態と合わなくなった起点の点検・修正等を行います。いずれも会員の皆様のご理解とご協力が必要不可欠な事業です。どうぞよろしくをお願いいたします。

また、「諸手当認定・電算マニュアル」と「学校事務の実務手引書」については、昨年度に引き続き本県の実態に即した内容にしていくために、各地区での質疑応答事例等の提供を依頼しました。これから開催される県費事務改善検討委員会では、ご提供いただいた資料を元に検討を行います。今後、質疑等提供用紙をお届けしますので、各地区の研修会等で挙げられた県内で共通理解していた方が良くと思われる質疑応答や事例を各地区の県費事務改善検討委員へお寄せください。また同様に福利厚生団体様式記入例・「出産・育児」ハンドブックについても更新を行いますのでご協力をよろしくお願いいたします。

今年の主な事業計画は以下の通りです。

- ①諸手当認定・電算マニュアル等の整備と第14次県費事務改善検討委員会の設置
- ②学校事務現状報告会の開催（今年度は北薩地区と熊毛地区が報告）
- ③県事協だよりの発行
- ④ホームページの刷新と更新（福利厚生関係様式記入例と「出産・育児」ハンドブック掲載中）
- ⑤各市町村研修会資料の共有化及びデータ化
- ⑥旅費の起点表の更新・整備
- ⑦会員アンケートの実施

今年の現状報告会は8月9日（金）です。公文は後日配布されます。

2018(平成30)年度 鹿児島県公立小中学校事務職員協議会 収支決算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

○収入の部			
3月31日現在 (単位:円)			
費目	予算額	収入額	増減
地区拠出金	907,100	907,100	0
雑収入	32	3	△ 29
前期繰越	149,468	149,468	0
収入合計	1,056,600	1,056,571	△ 29

2019(令和元)年度 予算(案)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

○収入の部			
(単位:円)			
費目	予算額	前年度 予算額	増減
地区拠出金	868,800	907,100	△ 38,300
雑収入	200,002	32	199,970
前期繰越	178,298	149,468	28,830
収入合計	1,247,100	1,056,600	190,500

○支出の部			
費目	予算額	執行額	予算超過 (△未達)
経 旅費	170,000	129,180	△ 40,820
常 会場使用料	21,000	9,400	△ 11,600
経 消耗品	25,000	5,577	△ 19,423
費 通信費	76,000	74,086	△ 1,914
事 旅費	633,000	623,540	△ 9,460
業 会場使用料	17,000	12,480	△ 4,520
経 消耗品	100,000	20,790	△ 79,210
費 通信費	6,000	3,220	△ 2,780
予備費	8,600	0	△ 8,600
支出合計	1,056,600	878,273	△ 178,327

収入合計1,056,571円-支出合計878,273円=178,298円(次年展繰越額)

○支出の部			
費目	予算額	前年度 予算額	増減
経 旅費	170,000	170,000	0
常 会場使用料	21,000	21,000	0
経 消耗品	25,000	25,000	0
費 通信費	76,000	76,000	0
事 旅費	600,000	633,000	△ 33,000
業 会場使用料	17,000	17,000	0
経 消耗品	123,000	100,000	23,000
費 通信費	6,000	6,000	0
研究助成金	200,000	0	200,000
予備費	9,100	8,600	500
支出合計	1,247,100	1,056,600	190,500

枕崎市事務職員の紹介

枕崎市事務職員研修会
別府小 山神 与志一

枕崎市は、鹿児島県薩摩半島の南端にあり、東は南九州市知覧町、北は南九州市川辺町および南さつま市加世田、西は南さつま市坊津町に接し、人口2万1千人、カツオ漁が盛んな町で、かつお節の生産量は日本一。鰹節のだしを生かした枕崎かつお船人めしやカツオの刺し身、たたきなど、おいしい食べ物がいっぱいあります。また、農業も盛んな町です。

個人的には、べにふうき（紅富貴）と言われるお茶品種を有機栽培で手摘みにこだわった枕崎紅茶（姫ひかり・姫ふうき）がお薦めです。

今年は、市制70周年にあたり「第2回枕崎国際芸術賞展」が7月21日（日）から9月16日（月）まで枕崎市文化資料センター南浜館で始まります。美術作品を町中に設置するなど芸術文化にも力を入れている町です。

夏の目玉は8月3（土）4（日）に行われる「さつま黒潮きばらん海枕崎港まつり」九州唯一の3尺玉花火が打ち上げられ、夜空を彩ります。間近で見る3尺玉花火は迫力満点です。また、2020年の鹿児島国体の「なぎなた」の開催地にもなっています。ぜひ見に来てください。

枕崎市事務職員会は枕崎・別府地区と桜山・立神地区の2支援室で構成され、4つの校区が全て1小1中のため4名ずつ合計8名となっています。市事務職員全体の研修会は年6回、市教育委員会で行われており、支援室ごとの研修が月2回行われています。枕崎市の共同実施は平成24年度から県教委の要綱をもとに市学校管理規則を改正しスタートしました。事務職員の職務も事務をつかさどると改正されるなど時代を先取りした改正がなされています。市の財政は非常に厳しい状況ですが経験値の高いベテランの事務職員ばかりで、教育委員会と連携しながら子どもたちのために教育環境整備・教育支援に奮闘しています。特に全校、就学援助事務を事務室で担当するなど足並みを揃えた教育支援を行っているのが特徴です。



薩摩酒造文化資料館明治蔵



空から見る枕崎港



お魚センターぶえん「枕崎鰹船人めし」

【枕崎市観光協会HPより】

第14次県費事務改善検討委員会が始まります！

今年度もマニュアル等の更新を中心とした県費事務改善検討委員会が6月25日(火)からスタートします。

昨年度、組織を改編し、諸手当認定・電算マニュアル班、実務手引書班、福利厚生関係実務班に分かれて夏休み中に編集作業を行っています。今年度は、本県において共通認識した方が良いと思われる事例や実態に即した質疑応答を充実させていくため、各地区から提供された質疑応答の事例の編集を行いますので、地区研修会や支援室等で出された事例をお持ちの方は、各地区から配布される「質疑等提供用紙」に、ご記入のうえ各地区の県費事務改善検討委員までご提出ください。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

諸手当認定・電算マニュアル班

認定・電算マニュアル各手当担当班です。常任委員5名、担当理事5名で組織されます。マニュアルに関する要望、加除修正部分を整理し、諸手当認定・電算マニュアルの整備を行います。従来の県事協CDと印刷サービスに加え、HPでも公開します。

県費事務改善検討委員会(実務手引書班)

常設委員1名、各地区からの検討委員8名、担当理事で組織されています。実務手引書(給与振込編・給与電算編・出力資料編・給与事務編)の編集の他、各地区からのQ&A事例の収集や各マニュアルへの要望、加除修正等の意見集約を行います。実務手引書は従来の県事協CDと印刷サービスに加え、HPでも公開します。

福利厚生関係実務班

県事協ホームページと県事協CDに掲載している「出産・育児」ハンドブックと各団体(共済組合・互助組合・共助会・福利厚生事務センター)の様式記入例の整備を行います。常設委員1名、担当理事で組織されます。昨年度から印刷サービスは行わず、ホームページと県事協CDに掲載しています。



エクセルの新元号表示について

5月から「令和」になりマイクロソフトからもアップデートプログラムが配信されています。

しかし、「令和1年」となって本当は「令和元年」としたいのに！と思われた方も多いと思います。まず令和表示にするには、セルを右クリック→セルの書式設定→表示形式→日付→カレンダーの種類→和暦にすれば5月以降の日付を入力すれば変わります。※表示サンプルが平成になっているのが紛らわしい。

また「元年」にするにはセルを右クリック→セルの書式設定→表示形式→ユーザー定義→種類の所に長いですが、

`[<43586]ggge"年"m"月"d"日";[<43831]"令和元年"m"月"d"日";ggge"年"m"月"d"日"`

と入れ直して最後にOKをしてみてください。ただしこのユーザー定義はそのファイルだけが有効なので新しいファイルを作る際には元のセルをコピー&ペーストする方法が一番早いと思います。

活動経過及び予定

4月18日	理事会・会計監査 県教職員課・総務福利課訪問
5月17日	理事会・第1回評議員会
6月25日	理事会・県事協事業説明会
7月29日	第1回県費事務改善検討委員会
8月9日	第2回評議員会・総代会 学校事務現状報告会

編集後記

4月以降それぞれの職場では36協定を学校長と締結されたかと思えます。元々36協定は以前から労使間において1日8時間、週40時間を超えて学校事務職員に超過勤務命令を行う場合には、協定を結んで超過勤務手当を支払わなければならなかったのですが、教員中心の学校においては協定対象外とした給特法が存在しており、少数の事務職員には本来結ぶべきものが、なおざりにされていました。しかし改正労基法で上限規制等が見直されることで、ようやくスポットライトが当たり今に至っています。また締結が行われたからといってこれまでと全く対応や事務処理が変わることはないのですが、一部で混乱が見られた様です。働き方改革の中で、職員一人一人が時間外労働の重みを認識する良いきっかけになればと切に願うばかりです。 広報担当理事 伊尻

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

鹿児島県福祉事業連絡会とは教職員のための福利厚生事業を行っている下記の5つの団体で構成する連絡会です。

- ☆公立学校共済組合鹿児島支部
- ☆鹿児島県教職員互助組合
- ☆鹿児島県教職員共助会
- ☆鹿児島県学校生活協同組合
- ☆教職員共済鹿児島県事業所

教職員の皆様方が学校・職場で安心して働くためにご自身の健康管理や病気をした場合の給付、冠婚葬祭時のお祝い金や弔慰金、人生の将来設計のための各種保険（共済）などの福利厚生事業を行っています。

公立学校共済組合

公立学校共済組合 鹿児島宿泊所

「ホテルウェルビューかごしま」の御案内

日頃から「ホテルウェルビューかごしま」を御利用いただき、心から感謝申し上げます。組合員皆さまのための施設として、お得な補助制度や利用について御紹介いたします。

1 利用補助制度について

- ① 鹿児島宿泊所宿泊利用補助
1泊あたり大人1,000円、小人500円を補助
- ② 鹿児島宿泊所会食等利用補助
 - ・1,500円以上会食した場合 500円を補助
 - ・3,500円 " 1,000円 "
 - ・5,500円 " 2,000円 "
- ③ 鹿児島宿泊所結婚式場利用補助
 - ・組合員及び子が利用した場合10万円を補助
 - ・100人以上の利用の場合は20万円を補助
- ④ 鹿児島宿泊所法事等利用補助
 - ・組合員及び被扶養者を施主とする法事等で利用した場合、料金の2分の1を補助（上限3万円）

※上記①及び②の対象者は、組合員、被扶養者及び同僚する組合員の一親等以内の親族となります。

2 イベントスペースの提供について

当施設のロビーや空きスペースを、学校・教育機関等の教育活動のPRの場として、無料で提供します。

- 例) 児童生徒の作品展示
- 演奏会や発表会の場
- 生産物や加工品の展示販売
- 学校のPR

まずは、ウェルビューまでお気軽に御相談ください。

問合せ先⇒099-206-3838（仁賀・行船）

今年度も引き続き、職場や御家族の皆さまと御利用くださるようお願いいたします。

教職員共助会

共助会係夏季研修会のご案内について

風薫る今日この頃、共助会係の皆さまには、本会の諸事業の推進につきまして、温かいご理解とご支援等を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、共助会の2018年度の新たな事業として、「共助会係夏季研修会」を開催いたしました。参加された先生方には好評をいただき、2019年度も実施いたします。

2019年度は、より多くの先生方に参加していただくために、地区を決めて実施することとなりました。大隅地区7月25日（鹿屋中央公民館）、鹿児島地区7月26日（鹿児島中央公民館）実施します。

研修内容は以下の通りです。

実施要領

- ① 目的
福利厚生事業等のアドバイザーとしての知識をさらに高める。
- ② 日時（予定）

大隅地区	2019年7月25日（木）
	13:00～16:35
鹿児島地区	2019年7月26日（金）
	13:00～16:35
- ③ 場所（予定）

大隅地区	鹿屋市中央公民館
鹿児島地区	鹿児島市中央公民館
- ④ 内容（予定）
 - ・福利厚生事業の現状と課題について
 - ・教職員のライフプラン（提案：野村証券ライフプランサービス部）

セミナーの概略

- ① ライフプランの必要性
 - ・主なライフイベントと費用
- ② ライフプランの基礎知識
 - ・教育費のイメージ・住宅ローンの見直し
 - ・生命保険の必要保証額
 - ・医療費のイメージ・医療費の自己負担・高額医療費の計算例・還付申告
 - ・日本の年金制度の全体像
 - ・年金制度のしくみ
 - ・今後の年金制度のゆくえ
- ③ ライフプランの実践
 - ・モデル事例で考える
- ④ 資産管理の基礎知識
 - ・債券と定期預金その他
 - ・iDeCoの概要